

Re島プロジェクトについて

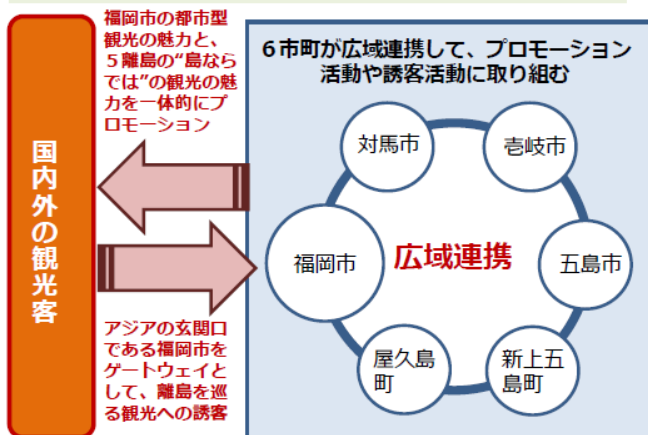
福岡市と、福岡市とダイレクトアクセスを持つ九州の離島3市2町（長崎県対馬市、長崎県壱岐市、長崎県五島市、長崎県新上五島町、鹿児島県屋久島町）は、観光・文化面を中心として連携し、交流人口の増加、地域経済活性化を目指すため、平成28年3月30日に「観光振興等広域連携協定」を締結、同日に「福岡市・九州離島広域連携協議会（以下、協議会という。）」が発足し、平成28年度より「Re島プロジェクト」を実施している。

○当該事業の数値目標 ※KPIは（ ）。対年度増加数を表している。

- ・ K P I ①：離島航空路・航路利用者数（福岡からの直行便のみの降客数）1月～12月
平成29年度：562,600人（20,971人）
平成30年度：585,200人（22,600人）
平成31年度：606,200人（21,000人）
- ・ K P I ②：外国人延宿泊者数（福岡市を除く）1月～12月
平成29年度：150,300人（11,688人）
平成30年度：159,400人（9,100人）
平成31年度：168,500人（9,100人）
- ・ K P I ③：本事業で造成する旅行商品（福岡経由又は福岡発離島行）の利用者数
平成29年度：400人（400人）
平成30年度：800人（400人）
平成31年度：1,500人（700人）

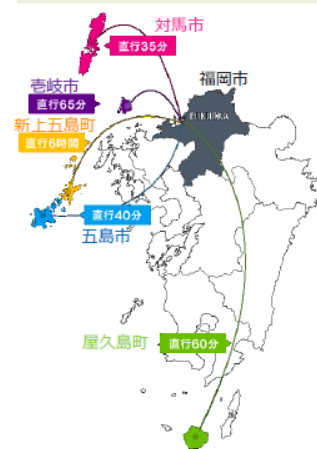
■Re島プロジェクトの目的

6市町が観光・文化面を中心として連携し、交流人口の増加を図り、地域経済の活性化を目指す。



■Re島プロジェクト参画の九州離島

福岡市と直行便（航空路・航路）で繋がっている離島



広域連携で目指す効果

【福岡市】
「九州のハブ」として、「離島に直結した大都市」という新たなブランドイメージを獲得。更なる発展。

【九州離島】
★観光客流入による交流人口増加、地域経済活性化
★UIターンによる移住者・定住者の人口増加

福岡市・九州離島広域連携協議会 組織体制

